令和５年度 第３回 厚木高等学校運営協議会　議事録

日　時　　令和６年３月 22 日（金）　15 時 30 分～16 時 30 分
場　所　　厚木高等学校　会議室

１　開会、校長あいさつ
　１年間かけて次期４年間の目標について協議し、いただいたご意見を踏まえて案をまとめた。ご確認いただくとともに、今年度の取組についても評価いただきたい。

２（１）令和５年度学校評価の実施結果について
　視点ごとに総括教諭から説明。
　（委員）いつも非常に活発に取り組んでいるため、教員の負担が心配である。
　（委員）生徒がどう感じているかが大事であるが、こちらからは見えていない。
　　→　（学校）次年度は授業等を見ていただけるようにしたい。
　（委員）すべての教科で教科横断的な深い学びを実践できたことは評価できる。
　（委員）生徒指導・支援において、相談体制の強化、充実を図ってほしい。
　（委員）HP の SSH 国際ページは厚木高校の特色の部分であり、引き続きレベルアップを図ってほしい。
　（委員）120 周年記念式典は素晴らしい内容であり高く評価できる。
（２）次期４年間の学校目標等について
　学校からの説明（校長）
　（委員）「ゼロから１を生み出す想像力を育み」という部分が一番重要で一番大変である。これはひらめきではなく技術である。手立てと繋げてほしい。
　（委員）「ゼロから１を生み出しうる人材を育み」など、完成形ではないと読めるよう文言を工夫するとよい。
（３）今後の活動について
　・次年度は SSHⅢ期の申請を行うこととなる。取組の「普及」が大きな柱となる。学校運営協議会として、厚木高校の SSH に何ができるのか、どのように生徒を伸ばしていくのか、ご協力をいただきたい。
　・授業等をご案内し、生徒の様子を直接見ていただいて、ご意見をいただきたい。
　（委員）PTA 活動で学校に来ても生徒を見ることができなかったが、SSH 生徒発表会のポスター発表で生き生きしている生徒を見た。今後も見ることができるとよい。
　（委員）防災訓練は普段から参加していないと必要時に困るはず。地域で協力し合えるとよい。

３　その他　　特になし

４　閉会

参加者名簿

【学校運営協議会委員】

栗原　靖之	横浜国立大学　教授
石田　裕昭	神奈川工科大学　理事　※書面で参加
佐藤　弘幸	厚木市立厚木中学校　校長　※書面で参加
松本　　茂	厚木高等学校同窓会　副会長　※書面で参加
新倉　啓一	戸室５丁目南自治会　会長
安達　浩志	厚木高等学校ＰＴＡ　会長
大沢　利郎	厚木高等学校　校長

【事務局・校内担当職員】

小林　恵里子	副校長
神橋　尚子	教頭
有働　隆	事務長
白石　勉	総括教諭（学習推進グループ　リーダー）
杉原　孝治	総括教諭（グローバル教育推進グループ　リーダー）
中村　友也	総括教諭（進路支援グループ　リーダー）
真壁　宗太郎	総括教諭（生徒支援グループ　リーダー）
諸星　輝一	総括教諭（生徒会グループ　リーダー）
長濱　洋	総括教諭（広報情報グループ　リーダー）